

**洋学と国学**

1. 洋学 [図表P. 189<sup>3</sup>←図表では「元禄文化」]

①洋学の先駆 (享保期を中心に)

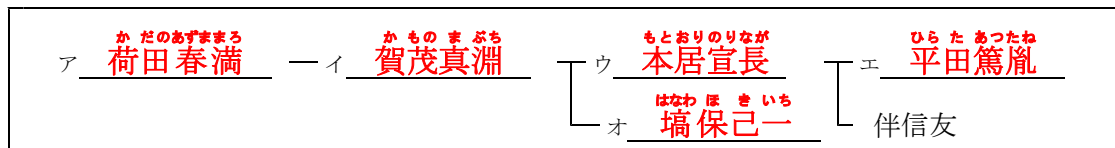
- \* 1 にしかわじよけん **西川如見** …長崎で見聞した世界の地理・物産を紹介した『**華夷通商考**』、町人の心得を説いた『**町人囊**』を著す。
- ☆ 2 あらい はくせき **新井白石** …宣教師シドッチを尋問し、『**西洋紀聞**』『**采覧異言**』の二著を著す。

②医学・蘭学 [図表P. 196<sup>3</sup>③]

- ☆ 3 まえの りようたく **前野良沢** …<sup>ぶぜん</sup>豊前中津藩医。青木昆陽に蘭学を学び、4とともに蘭書『**ターヘル・アナトミア**』の訳述にかかり、初の翻訳解剖書『**解体新書**』を刊行した。
  - ☆ 4 すぎ たけんぱく **杉田玄白** …3とともに『**解体新書**』を訳述。その苦心談が『5 らんがくことばはじめ **蘭学事始**』。
- ※医学では、西洋医学ではなく漢の医学(古医方)を学んで1759年に日本最初の解剖図『**蔵志**』を著した**山脇東洋**もいる。
- ☆ 6 おおつきげんたく **大槻玄沢** …江戸に<sup>しらんどう</sup>芝蘭堂をひらく。蘭学入門書『7 らんがくかいてい **蘭学階梯**』を著す。
  - ☆ 8 いなむらさんぱく **稲村三伯** …玄沢に学ぶ。最初の蘭日辞典『9 はるま わげ **ハルマ和解**』を刊行。

2. 国学 [図表P. 196<sup>2</sup>]

☆日本の古典を研究し、儒教や仏教など外来思想に影響される以前の民族精神(古道)の究明に努めた学問。北村季吟、戸田茂睡、契沖ら元禄期の古典研究が発展したもの。



- \* ア…『**創学校啓**』を著し、8代將軍吉宗に国学の学校建設を建言。国学勃興の機運をつくった。
- \* イ…<sup>あずままる</sup>春満に学び、田安宗武に仕える。万葉集を研究し古道の究明に努めた『10 まんようこう **万葉考**』、儒教・仏教を批判して古道復帰を説いた『11 こくいこう **国意考**』を著した。
- ☆ ウ…伊勢松坂の医者で、賀茂真淵に学ぶ。国学の大成者。『古事記』の研究書『12 こじきでん **古事記伝**』において、**中国思想の影響**＝<sup>からごころ</sup>漢意を排して、**日本古代の精神**＝<sup>まごころ</sup>真意を尊ぶべき事を説いた。他に、『源氏物語』注釈書の『**玉小櫛**』、随想集『**玉勝間**』、紀伊藩主に提出した政治理論書『**秘本玉くしげ**』がある。
- ☆ エ…宣長の思想を受け、儒教・仏教に影響されない純粋な古道にもとづく13 かつこ **復古** 神道を確立。  
※以上ア～エまでの4人を「**国学の四大人**」という。
- \* オ…1793年に幕府の許可を得て国学の学問所・14 わ がくこうだんしよ **和学講談所** を設立。ここで、古代から江戸初期までの膨大な古書を分類・整理した『15 ぐんしよるいじゆう **群書類従**』の刊行が行われた。生前530巻、没後1150巻が発刊された。なお、彼は七歳の時に失明している。

